

様式第6号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年 5月22日

宮崎市長 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市高岡町内山2887
名 称	高岡まちづくり委員会
代表者の氏名	委員長 重信 美香
電話番号	72-8837

令和4年10月28日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告・収支決算書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 積立金管理状況報告書
- (ニ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ホ) その他
  - ・地域協議会の意見書

令和4年度 事業実施報告・収支決算書

高岡地域自治区

高岡地域まちづくり推進委員会

1 総括

今年度、『「大好きなまち高岡」を目指して』をテーマに様々な事業を計画した。  
 但し、年度初めより、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、中止せざるを得ない事業も発生する状況となった。また、事務局がTAKAOKAつなぐへ移転し、2年目を迎えたが、徐々に認知度も深まり、学生から高齢者まで幅広い来客が見込めた。  
 今後も広報誌やホームページ等を活用し高岡地域の情報を発信していくとともに地域の活性化及び、課題解決に積極的に取り組んでいきたい。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	2,828,000	2,828,000	0	
繰越金	1,045,760	1,045,760	0	
その他	240	32,440	32,200	預金利息・印刷代、寄付ほか
災害時等積立金	0		0	
合計	3,874,000	3,906,200	32,200	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域防災リーダー育成事業	6年目	50,000	7,431	42,569	
福	認知症見守り声かけ模擬訓練事業	5年目	50,000	28,382	21,618	
福	子どもつなぐ事業	5年目	100,000	61,070	38,930	
福	子ども学習支援事業	1年目	100,000	65,639	34,361	
再	まちづくりTAKAOKAつなぐ事業	2年目	900,000	771,482	128,518	
再	月知梅うめまつり事業	13年目	300,000	55,000	245,000	記録ビデオ作成のみ
再	去川大イチョウフェスティバル事業	12年目	200,000	216,510	16,510	
再	穆園ファミリーコンサート事業	12年目	174,000	130,255	43,745	
再	たかおか夏まつりエコクリーン活動事業	11年目	300,000	125,950	174,050	チラシ作成のみ支出
再	高岡地域情報発信事業	6年目	700,000	593,604	106,396	
再	武家住宅魅力発信事業	1年目	250,000	192,174	57,826	
伝	天ヶ城麓地区歴史的まちなみ文化ふれあい事業	11年目	150,000	84,068	65,932	
教	ふるさとふれあいバスツアー～文化財巡り～事業	11年目	150,000	96,197	53,803	
教	高岡歴史かるた交流大会事業	5年目	50,000	20,497	29,503	
他	高岡まちづくり委員会事務局運営事業	10年目	400,000	339,499	60,501	
防	災害時等積立事業		0		0	
	繰越金		0	1,118,442	0	
	合計		3,874,000	3,906,200	32,200	

### 3 実施報告

#### [ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	地域防災リーダー育成事業	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1 ともに支えあい安心して暮らせるまち 防災、減災意識の向上														
目的 (期待される効果)	災害に関する理解を深め、災害時に積極的な支援活動ができるよう様々な場合を想定し体験することで、防災に関する知識や技能を身につける。														
事業内容・手段	(1) 地域防災リーダー育成講座の開催 会場：農村環境改善センター 2階大研修室他 実施時期：6月25日(土)9:30~12:00 内容：防災講座(高岡支所地域係防災コーディネーター)マンホールトイレ設置訓練 防災用品の展示・組立(間仕切りテント) 参加者：26人														
事業費	7,431円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>15人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	15人	人	スタッフ	11人	人	合計	26人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	15人	人													
スタッフ	11人	人													
合計	26人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っていれば割合簡単に組み立てられるが、全く知らない場合は難しいと感じた。</li> <li>・マンホールトイレがある場所を避難所として利用する場合は使えるかもしれないが、自分たちの身近な避難所はこのような施設がない。</li> <li>・情報をいち早く得て、早めの避難を促すことが大切だと感じた。</li> <li>・情報を得る手段やそれを伝達する手段が、高齢者が多いと不安を感じる。スムーズにいけばよいが。</li> </ul>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	B	令和3年度に実施した防災へのアンケート調査結果からも、防災に対する関心が高く、より工夫を凝らした事業内容が必要である。	広報	事業の周知	B	B	規模を縮小するために今回はチラシや広報誌等の周知を図らず、対象者を限定しこちらから参加のお願いをした。
	住民の参加	B	B	今回はコロナウイルス感染症を考慮し、自治公民館6支部から1～2名の参加者で実施した。次回は各支部毎で開催したい。	事業の効果	課題解決への作用	B	B	コロナの有無にかかわらず不慮の災害は可能性があるので、何らかの形で実施していくことが大切だと考える。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	不慮の災害に対応するため、今後とも必要な事業である。		住民の満足度		B	B
	各種団体との連携	B	B	自治公民館や消防団、行政、民生委員等の幅の広い諸機関との連携が必要。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数を絞ってでも開催できて良かった。</li> <li>・地区ごとの実情を踏まえたうえで、それぞれに適した避難訓練や図上訓練等が出来るとういと思う。</li> </ul>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和4年4月・事業報告）&gt;</p> <p>高岡の毎年自治公民館長が交代する状況を鑑みつつ、事業が継続できるようしていただきたい。</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p> <p>高岡地区自治公民館連絡協議会の役員会、総会に出席し、事業への協力依頼を行った。</p>					対応	未・済	
		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### [ 2 ] 地域福祉に係る事業

事業名	認知症見守り声かけ模擬訓練事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1 ともに支えあい安心して暮らせるまち 高齢者・障がい者のやりがい、生きがいの創造														
目的 (期待される効果)	認知症による徘徊高齢者の早期発見・保護の訓練を行い、地域全体で認知症とその家族を支え、見守る環境を作り、「認知症になっても大丈夫！」な地域を目指す。														
事業内容・手段	(1) 認知症見守り声かけ模擬訓練の開催 会場：高岡地区農村環境改善センター及び総合支所構内 実施時期：10月22日(土) 内容：認知症サポーター養成講座 認知症見守り声かけ模擬訓練 意見交換会・まとめ 参加者：32名														
事業費	28,382円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>9人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>23人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	9人	人	スタッフ	23人	人	合計	32人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	9人	人													
スタッフ	23人	人													
合計	32人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人事ではないと思った。</li> <li>・各地区に見守り隊みたいなグループがあればいいと思った。</li> <li>・日頃から常に意識をもって行動したいと思った。</li> <li>・たくさんの気付きがあり勉強になった。</li> </ul>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	B	令和3年度の福祉に関するアンケート調査結果及び今年度事業後のアンケートも参考にしながらさらに充実した事業を実施する。	広報	事業の周知	B	B	新型コロナウイルス感染症を考慮しながらの実施だったので、自治公民館6支部から代表者を募り、少人数での実施となった。
	住民の参加	B	B	大々的に参加を求めることができなかったため、自治公民館6支部長に協力をあおぎ、少人数で実施した。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域で安心して暮らせるために、必要な事業であり、まちづくり委員会が取り組むべきと考える。	住民の満足度				B
	各種団体との連携	A	B	高岡町内の自治公民館6支部長の方々に協力をあおいだ。また、市の包括ケア、消防団、支援専門員の方々と連携を図った。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の内容が分かりやすかった。</li> <li>・認知症役の方の演技がとてモリアリティーがあり、声かけ訓練が実際に対面しているようなものとなった。</li> <li>・一部の人だけでなく、対象者の幅を広げたい。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和4年4月・業務報告）&gt; 声かけができない場合の対応についても考慮してほしい。</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 2 ] 地域福祉に係る事業

事業名	子どもつなぐ事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：平成30年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1 ともに支えあい安心して暮らせるまち 地域や子ども（学校）の連携強化														
目的 (期待される効果)	子どもたちの交流の場として、地域の歴史や必要な講座等を通して、人と人とのコミュニケーション、地域への理解を深めることを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 子どもつなぐ事業の開催 おはなしの会実施 会場：武家住宅 実施時期：9月25日(日) 内容：読み聞かせ、防災の話 場所：武家住宅 参加者：22名(保護者含む)  高岡町にまつわる書道・絵画の募集 去川大イチョウフェスティバルにて展示(書道26点展示)														
事業費	61,070円														
対象者	高岡地域小学生・中学生														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>22人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>7人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29人</td> <td>57人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	22人	45人	スタッフ	7人	12人	合計	29人	57人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	22人	45人													
スタッフ	7人	12人													
合計	29人	57人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	コロナの影響により小学校、中学校との活動がうまくできなかった。	広報	事業の周知	A	A	始めは夏休み中に予定チラシを作ったが、コロナウイルス感染者数の激増により、9月に時期をずらしたため、全戸に知らせることができず、図書室に来た人等への直接的なお知らせにした。
	住民の参加	B	A	地元の小学生やその保護者、兄弟等が参加してくれた。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	高岡の歴史的遺構である武家住宅を活用し、子どもたちにも広めることで、地元への関心をさらに深めることができると思う。		住民の満足度			A
	各種団体との連携	B	A	武家住宅管理組合や穆園お話の会等、他団体との連携で事業を行うことができた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武家住宅を活用することで、地域の歴史的文化的文化財に触れることができた。</li> <li>・9月という時期に合わせて防災の話もでき、意識付けになったと考える。</li> </ul>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和4年4月・事業報告）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍に対し、少人数による実施は良かった。</li> <li>・子どもたちが「高岡」を訪れるよう、あらゆる場面を想定した事業の展開を期待する。</li> </ul> <p>&lt;意見への対応&gt;</p> <p>町内の各種団体と連携した事業を実施した。</p>				対応	未・済		
		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	まちづくりTAKAOKAつなぐ事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始： 令和3年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1 ともに支え合い安心して暮らせるまち 2 産業と観光のまち														
目的 (期待される効果)	まちづくり委員会事務局を併設することで、より細かな住民サービスの向上が図れる。														
事業内容・手段	(1) まちづくり委員会の事務局として、地域の情報発信基地として、様々な活動を行う。 内容： コミュニティスペースとしての活用 Wi-Fi活用による地域団体、個人、スポーツ少年団等による利用促進のPR 災害拠点・備蓄基地としての活用(災害時等積立金の活用) 高岡を全体的にPRできる施設(観光案内的)としての設置 広報誌やホームページ、フェイスブック等SNSの活用による情報発信の更なる充実・強化  来場者：939名(一般：365名) 団体利用：団体30回														
事業費	771,482円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>365人</td> <td>330人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>365人</td> <td>330人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	365人	330人	スタッフ	人	0人	合計	365人	330人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	365人	330人													
スタッフ	人	0人													
合計	365人	330人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨の中や寒い中、または暑い中、快適にバスを待つことができた。</li> <li>・自宅で印刷ができなくて困っていたが、つなぐで印刷ができて助かった。</li> <li>・スマートフォンの使い方を教えてもらった。</li> <li>・食事の提供があるといいのに・・・という方もいた。</li> </ul>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	A	休日及び夜間の貸出を実施したり、少しずつ地域の皆様に利用しやすい環境整備を実施した。	広報	事業の周知	A	A	全戸配布される広報誌に掲載したり事務局の前にポスターや看板を設置したりして、周知を図った。
	住民の参加	B	B	初めはどのような場所かがなかなか浸透せず、利用者が少なかったが徐々に理解をしてもらえようになり、それとともに利用者が増えてきた。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	場所的に町の中心部で立地条件がよいので、多くの地域住民に気軽に利用してもらえるような取り組みを、まちづくり委員会が行うのが妥当と考えている。	事業の効果	住民の満足度			B
	各種団体との連携	B	B	各種団体への積極的な利用促進をPRしたが、コロナの影響等で期待通りの成果を得られなかった。			事業継続の必要性		有 ・ 無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小会議の場として平日に限らず休日や夜間の利用も可能にした。</li> <li>・バスや乗合タクシーを待つ時間に休憩してもらえるようお茶の飲み物を用意したり、時刻表を掲示したりした。</li> <li>・携帯電話やパソコン、プリンター等の使い方の相談にも応じるようにした。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和4年3月・業務計画）&gt;</p> <p>高岡地域の情報発信の拠点として、イベント等の企画による集客や周知方法について、更に工夫してほしい。</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p> <p>広報誌、HP・FB等での紹介、Wi-Fi使用、パソコン利用等のPRを行い、一定の固定客の獲得ができ、幅広い年代の集客ができた。高岡きずな号の待合所としての周知も広がった。</p>						対応	未 ・ 済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未 ・ 済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	月知梅うめまつり事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 3 産業と観光のまち 魅力あふれる観光地・特産品のPR														
目的 (期待される効果)	国指定天然記念物で、月知梅の開花時期に、地域住民の創意工夫により特色を活かしたイベントを実施することで、地域の伝統ある資源を再認識し高岡地域住民の連帯感を醸成していく。														
事業内容・手段	(1) 月知梅うめまつりの開催 会場：月知梅公園 実施時期：令和5年2月 内容：地元保育園、小・中学生の絵画等の展示 保育園児の遊戯・ステージイベント、地元農産物の販売・うどんの販売・ぜんざいの振舞いほか 参加予定：1,500人  以上の予定だったが、新型コロナウイルス感染症が以前終息しない事等をふまえステージイベントや振舞いが中止となった。それに代わってドローン等を使用した撮影を行い、月知梅の記録動画を作成した。また、梅の見物客が訪れる土・日にまちづくり委員会によるゴミ箱、高岡ガイドマップ配布コーナー設置を行った。														
事業費	55,000円														
対象者	地域住民、宮崎市内外の市民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合計	人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合計	人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	・高岡の名所としての知名度もある月知梅を見に来る人も多い。せっかくの宝を活用できないのは寂しい。														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B		コロナ禍での事業であるが、中止前提で考えず、できる範囲での実施方法を考える必要がある。	広報	事業の周知	B		イベントを中止すると決定していたので広く周知はしなかった。
	住民の参加	B		実行委員会主体の計画になっているため、公民館等地元住民の参加がないように感じる。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B		高岡町の宝ともいえる月知梅を活用した町の活性化を図る事業を、まちづくり委員会が、地元公民館と協力して取り組んでいくことが望ましいのではないかと考える。	事業の効果	住民の満足度			B
	各種団体との連携	B		月知梅うめまつり実行委員会や地元公民館との連携がないと事業実施は難しい。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・記録動画を作成し、天ヶ城開門まつりの会場で上映できたことは良かった。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和4年4月・実施報告） 高岡地域内外に「高岡」を知っていただくうえで事業の継続を望む。					対応	未・済	
		<意見への対応>						未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>						未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	去川大イチョウフェスティバル事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 3 産業と観光のまち</p> <p>魅力あふれる観光地・特産品のPR</p>														
目的 (期待される効果)	<p>去川地区のシンボルである去川のイチョウ(国指定天然記念物)を中心にフェスティバルを開催する。 去川の史跡、去川関所跡、二見家住宅、二見家墓石群など文化・歴史を再認識することで、郷土愛の醸成を図る。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 去川大イチョウフェスティバルの開催 会場：去川大イチョウ広場周辺、二見家住宅、旧去川小学校</p> <p>実施時期：11月19日(土)、20(日)、23(水・祝日) *23日は、警備及び駐車場整理のみ実施</p> <p>内容：旧去川小学校校舎の一部及び校庭等を利用したの 地元小・中学生の書道作品・高岡歴史かるた原画の展示、地元野菜・お茶・パン・ハンドメイド品の販売 二見家住宅での高岡歴史かるた実演</p> <p>参加者：454人</p>														
事業費	216,510円														
対象者	高岡地域住民・宮崎市内外の来場者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>393人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>61人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>454人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	393人	人	スタッフ	61人	人	合計	454人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	393人	人													
スタッフ	61人	人													
合計	454人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に住んでいながら初めて参加してみた。来年も来てみたい。</li> <li>・イチョウの色付きは年によって変わってくるから、今回はもう少し黄色くなっていたら良かったと思う。</li> </ul>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		長年続いてきた大イチョウのイベントが全くなくなるのは淋しいことだが、事業に関わる人自体が減ってきていることの難しさを地域住民の方が感じているのが理解できた。	広報	事業の周知	B		全戸配布の広報誌で予告した。今回はぎりぎりまで開催が決定しなかったため、チラシ配布は行っていない。
	住民の参加	A		今回はイチョウの色付きも遅く、また雨天続きだったことや近郊のイベントが同日に多く重なっていたことも影響し、例年に比べ人出が少なかった。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		地域の高齢化が進み、負担が大きくなってきている現状を考えると、まちづくり委員会が中心になって取り組んでいくのが妥当かもしれない。	事業の必要性	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A		地元去川公民館、高岡歴史かるた会、歴史かるた盛り上げ隊、地元業者の方々、中山間もりあげ隊、社協関係ボランティアの方々等、多方面団体との連携を図ることができた。					
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一部の人に負担をかけないような内容にすることができた。</li> <li>旧去川小学校を借りることができたのは良かった。来年度も行うとしたら体育館も借りるとよいと思う。</li> <li>事業を複数日行うのは少し無理があるように感じた。予算もオーバーした。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和5年5月・事業実施報告）&gt;</p> <p>ボランティアのイベントへの関わり方を検討してほしい。 おもいやり駐車場について検討してほしい。</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応		未・済
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応		未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	穆園ファミリーコンサート事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 3 産業と観光のまち 高岡市街地の活性化														
目的 (期待される効果)	高岡地域で生の演奏に触れる機会が少ないため、いろいろなジャンルの演奏を聞いて豊かな感性を育てる。また、参加者の交流を目的とする。														
事業内容・手段	(1) 穆園ファミリーコンサートの開催 会場：高岡地区農村環境改善センター 実施時期：11月26日(土) 内容：コンサートの開催 まちづくり委員会、高木兼寛顕彰会の紹介 参加者：152名														
事業費	130,255円														
対象者	地域住民及び近郊の市民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>133人</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>19人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>152人</td> <td>123人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	133人	109人	スタッフ	19人	14人	合計	152人	123人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	133人	109人													
スタッフ	19人	14人													
合計	152人	123人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃あまり聴く機会のないジャズに触れられて良かった。</li> <li>・楽しいひと時だった。</li> <li>・コンサートを楽しみにしている。</li> </ul>														



自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	本格的なジャズコンサートに触れあえて参加者も大いに満足した、という感想を多くもらった。	広報	事業の周知	A	A	自治公民館を通してチラシを全戸配布した。広報誌でも案内を載せた。
	住民の参加	A	A	旧高岡町内外からコロナ禍の中でも100名を超える人に参加してもらうことができた。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	生の音楽を聴く機会が少なくなっている状況で、感染予防対策を取って何とか事業を実施していくことは、住民の望みを叶えることになると考える。	事業の効果	住民の満足度			A
	各種団体との連携	A	A	顕彰会と連携して実施できた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大予防のために人数を少し控えて客席数を制限する等の対策を取りながら実施することが出来た。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>							

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	たかおか夏まつりエコクリーン活動事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 3 産業と観光のまち 高岡市街地の活性化</p>														
目的 (期待される効果)	<p>高岡地域やまちづくり委員会に対する興味・関心を喚起するとともに、まつりの安全、快適性の向上を図りながら、地域住民の積極的かつ自発的な参加を促し、相互交流と連帯感を促進することを目的とする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) たかおか夏まつりの開催に伴うエコクリーン活動及びステージイベント          会場：高岡町中央ふれあい広場          実施時期：8月 前夜祭及び本祭          内容：エコステーションの運営          お楽しみ抽選会          まちづくり委員会PR          参加予定：約2,500名</p> <p>以上の予定だったが新型コロナウイルス感染拡大予防を考慮し夏まつり自体は中止となった。ただし、事前にポスター・チラシは既に印刷終了し配布済みだったため、その費用を計上した。</p>														
事業費	125,950円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合計	人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合計	人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・昨年に引き続き中止となって残念だった。</p>														

自己評価(評価：A 良い B 普通 C 要改善)

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握				広報	事業の周知			
	住民の参加					事業の効果	課題解決への作用		
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性						住民の満足度		
	各種団体との連携				事業継続の必要性		○有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	高岡地域情報発信事業	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 3 産業と観光のまち  魅力あふれる観光地・特産品のPR														
目的 (期待される効果)	高岡町の地域イベント情報や特産物など、情報を発信し、高岡町のPRを行う。情報発信により団体の活発化を促し、高岡町全体の活発化を図る。														
事業内容・手段	(1) 「わが町たかおか」の発行 実施時期：通年 部数：4,500部×6回 (A4カラー×6ページ)  (2) ホームページやフェイスブック等による情報発信 実施時期：通年 内容：ホームページやフェイスブックによる高岡地域の情報発信 (まちづくり委員をはじめ、各団体の活動紹介やイベント情報等)														
事業費	593,604円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>35人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35人</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	35人	35人	合計	35人	35人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	35人	35人													
合計	35人	35人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	高岡地域の行事予定や団体活動、個人の活動を知る手段として、広報誌だけでなくフェイスブックでの情報発信の充実を図った。	広報 事業の 周知		B	A	広報誌「わが町たかおか」により、まちづくり委員会の事業内容の紹介が出来た。また、フェイスブックでの周知も行った。ホームページについては、内容の一部変更をすることができ、更新出来るようになった。今後も、広報誌、フェイスブック、ホームページで積極的な周知を行っていく。
	住民の参加	A	A	広報誌「わが町たかおか」で地域住民の参加を得て新たな情報発信を企画した。			事業の 効果		A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	幅広い世代に関心を持ってもらえる広報誌を目指し、取り上げる内容を工夫しながら情報発信に努めている。また、他まちづくり委員会へ広報誌を送付し、高岡の情報発信に努めた。					A
	各種団体との連携	A	A	高岡地域の各団体に情報を提供してもらい、事業運営に努めた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌で取り上げる個人や団体に偏りが出ないように考慮するようにした。</li> <li>・ 高岡地域で頑張っている個人や団体等をなるべく広く紹介することで、地域への関心をより高められるように工夫した。</li> <li>・ ホームページの見直しを図り扱いやすくなったため、滞っていた更新ができるようになった。</li> </ul>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和4年3月・業務計画）&gt;</p> <p>広報誌「わが町たかおか」は、広く地域の方々に読んでいただけるよう、質の高い情報誌の発行に努めてほしい。</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p> <p>地域の団体の紹介、各公民館での活動状況等身近な話題を掲載し、より地域に密着した広報誌作成に取り組んだ。</p>					対応	未・済	
		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 6 ] 伝統文化に係る事業

事業名	天ヶ城麓地区歴史的まちなみ文化ふれあい事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2 地域資源を活かしたまち  歴史的まちなみの保存・活用														
目的 (期待される効果)	天ヶ城麓地区に残る歴史的まちなみ(武家住宅、武家門)を活用して、その歴史や先人の功績と庶民の地道な営みに感謝し、地域の貴重な財産としての認識を深めるとともに、住民の親睦と連帯を深め地域の活性化を図る。														
事業内容・手段	(1) 天ヶ城麓地区でのイベントの開催 会場：武家住宅、武家門 実施時期：10月16日(日)、11月3日(木)~6日(日)、11月5日(土) 内容：10月16日は麓のまちなみを歩こう会の実施 11月3日~6日までは、「秘蔵の書」一般公開 11月5日は住宅近郊の武家門スタンプラリーの実施 参加者：歩こう会~10名 秘蔵の書展~750名 スタンプラリー~5名														
事業費	84,068円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>765人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>775人</td> <td>105人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	765人	70人	スタッフ	10人	35人	合計	775人	105人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	765人	70人													
スタッフ	10人	35人													
合計	775人	105人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高岡の歴史ある一場に触れることができたという感想をいただいた。</li> <li>貴重な物を鑑賞することができ、またその説明も詳しく聞くことができたこと、喜んでもらえた。</li> </ul>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B	文化祭と絡めた事業ではなく、武家住宅をメインとした、事業の再構築が必要である。	広報	事業の周知	A	A	全戸配布の広報誌により周知を行った。また、秘蔵の書公開に関しては新聞社やテレビ局等のメディアへの働きかけを行った。
	住民の参加	A	A	武家住宅のイベントに絡め、地元小中学生の作品を展示する等の協力を得ることができた。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	天ヶ城麓地区の武家住宅、武家門を高岡町内外の方へ魅力を発信できた。	事業の効果	住民の満足度			B
	各種団体との連携	A	A	武家住宅管理組合や天ヶ城歴史民俗資料館と連携した事業が実施できた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気にも恵まれ健康的な歩こう会が実施できた。</li> <li>・今回は特に著名人の自筆の書を展示することができ、たくさんの人に見てもらうことができた。</li> <li>・特に武家住宅管理組合の方々の厚いご協力のもと実施することができ、ありがたかった。</li> </ul>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和4年4月・事業報告）&gt;</p> <p>「天ヶ城開門さくらまつり」と連携できたら、更によかったと考える。今後も他の事業と連携できる場合は活用していただきたい。</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p> <p>さくらまつりの際、まちづくり委員会のブースを設け、武家住宅での事業内容のチラシ作成し、集客を行った。今後とも他の事業と連携して事業を実施していく。</p>					対応	未・済	
		<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	ふるさとふれあいバスツアー～文化財巡り～事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>2 地域資源を活かしたまち</p> <p>歴史的まちなみの保存・活用</p>														
目的 (期待される効果)	<p>特に小学生、中学生及び保護者を対象とした宮崎市及び高岡地域巡見を実施し、歴史と伝統の風土の中に生き続ける高岡地域の文化振興を図るとともに、郷土に誇りを持った感性豊かな人材を育成することを目的とする。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) ふれあいバスツアーの開催            実施時期：7月23日(土)の予定だったが、新型コロナウイルス感染者が激増していたため、10月15日(土)に延期した。</p> <p>内 容：穆佐城址及び高木兼寛生誕地、去川のイチョウ及び去川関所御定番旧二見家住宅の見学等。</p> <p>参 加 者：31人(高岡地域内小学生児童、保護者)</p>														
事業費	96,197円														
対象者	高岡地域内小学生児童及び保護者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>31人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>13人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>44人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	31人	人	スタッフ	13人	人	合 計	44人	人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	31人	人													
スタッフ	13人	人													
合 計	44人	人													
住民の声(アンケートの結果等)															



自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B		ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続き、当該事業に関する認識が薄れていたように感じた。	広報	事業の周知	A		チラシだけでなく、FBや各種団体への声かけで積極的な周知を行った。
	住民の参加	A		今まで対応していなかった各種団体への参加もいただき、事業を行うことが出来た。			事業の効果	課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		歴史ある高岡地区の遺跡や遺構等について、子どもたちへの関心を高めるためにも、この取り組みはまちづくり委員会がおこなっていくべきだと考える。	住民の満足度				A
	各種団体との連携	A		高木兼寛顕彰会や穆佐城ボランティアガイドの方々との連携をお願いし事業を計画・実施することができた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		良かった点や改善した点等 ・時期としては夏休み当初の方がいいのかもしれないが、近年の暑さを考慮すると、時期を秋にずらして良かったのかもしれない。熱中症の心配がある。 ・小・中学校へのチラシ配布での募集だけでなく、子ども会、スポーツ少年団等幅広い募集を行った。							
地域協議会からの意見への対応	< 地域協議会からの意見（令和 年 月・ ） >						対応	未・済	
	< 意見への対応 >								
地域協議会からの意見への対応	< 地域協議会からの意見（令和 年 月・ ） >						対応	未・済	
	< 意見への対応 >								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	高岡歴史かるた交流大会事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：平成30年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2 地域資源を活かしたまち 地域文化継承活動の充実														
目的 (期待される効果)	「かるた」という伝承遊びを通して、老若男女誰もが高岡の歴史に楽しく触れることで郷土愛を育む。														
事業内容・手段	(1) 「高岡歴史かるた」を使ってのかるた交流大会の開催 会場：武家住宅 実施時期：令和5年2月4日(土) 内容：「高岡歴史かるた」を使ってのかるた交流大会 去川大イチョウフェスティバルでのかるたの実演及び展示の実施 参加者：25人														
事業費	20,497円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>14人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	14人	人	スタッフ	11人	人	合計	25人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	14人	人													
スタッフ	11人	人													
合計	25人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	・初めて参加したが、難しかったけど楽しかった。 また参加してもいいなと思った。														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B		各公民館に歴史かるたを1個ずつ配布しているが、やり方がわからない等で活用されていない状況である。各公民館と連携を取り、使用方法等の周知を図りたい。	広報	事業の周知	B		チラシを作り、各公民館の班回覧として配布してもらった。高岡図書室にもチラシを置き声かけ等してもらった。
	住民の参加	A		人数は少なかったが穆佐小学校、高岡小学校、高岡中学校から参加してもらうことができた。	事業の効果	課題解決への作用	B		小・中学生だけではなく、広く一般の方に競技方法等の周知を実施していきたい。
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		高岡の歴史に触れる良い機会として、今後も継続していきたい。		住民の満足度	B		高岡の歴史に触れる良い機会として、今後も継続していきたい。
	各種団体との連携	A		「高岡歴史かるた」の会とまちづくり委員会が連携してかるた大会を計画した。	事業継続の必要性		有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<p>&lt; 良かった点や改善した点等 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため事業自体を中止にしたが、今年是对策を取りながら、事業ができるような計画にした。</li> <li>・ 会場が当初の予定より変更になり武家住宅となったが、逆に趣があり良かった。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt; 地域協議会からの意見（令和 年 月・ ） &gt;</p> <p>&lt; 意見への対応 &gt;</p>						対応	未 ・ 済	
	<p>&lt; 地域協議会からの意見（令和 年 月・ ） &gt;</p> <p>&lt; 意見への対応 &gt;</p>						対応	未 ・ 済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

[ 8 ] その他の事業

事業名	高岡まちづくり委員会事務局運営事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1 ともに支えあい、安心して暮らせるまち														
目的 (期待される効果)	高岡まちづくり委員会の円滑な運営を行う。														
事業内容・手段	(1) 高岡まちづくり委員会における会議、事業等に係る業務 内 容：定期総会はじめ役員会や各専門部会の資料作成及び出席 各事業に関わる書類作成及び準備等 (2) 申請書、実績報告書等の作成業務 内 容：事業計画書、事業実施報告書等事業の運営に係る書類作成及び提出、事務局の運営に伴う書類作成及び手続き等 (3) 会計に関する業務 内 容：地域コミュニティ活動交付金活用事業に関する支払い 地域まちづくり事務局運営補助金に関する支払い (1)(2)(3)実施時期：通年 TAKAOKAつなぐの利用促進のPR														
事業費	339,499円														
対象者															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合 計	人	人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合 計	人	人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	A	事務局の「TAKAOKAつなぐ」への移転2年目ということで、F・B・広報誌等でまちづくり委員会の活動を積極的に実施したが、まだまだまちづくりへの理解が深まっていないように感じる。	広報	事業の周知	B	A	広報誌「わが町たかおか」、フェイスブックにより、まちづくり委員会の事業内容の紹介が出来た。今後更にホームページの充実を図りたい。
	住民の参加	A	A	より多くの住民の方にまちづくり委員会の事業内容を周知できるように工夫を行う。また地域住民の意見を取り入れられるような体制を取り入れる。			事業の効果	課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	今後も高岡のまちづくり活動を推進し、委員会部会内の情報共有、意思統一に努めたい。	事業の効果	住民の満足度			B
	各種団体との連携	A	A	各部会で活動報告を行い、地域協議会や各種団体から出た意見を基に前向きに取り組んだ。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 地域協議会と連携して、今後のまちづくり委員会、事務局の方向性を協議した。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	災害時等積立事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1 ともに支えあい安心して暮らせるまち</p>														
目的 (期待される効果)	<p>高岡まちづくり委員会災害時等積立基金を活用し、地域における風水害等の不測の事態に対する災害支援活動に備え、必要な備品を計画的に購入し、整備する。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) エアーベッドの購入 災害時等積立基金全体事業に則り、令和4年度「エアークラウド」を購入する。まちづくり委員会に保管し、不測の事態に対しての災害支援活動として活用する。 エアークラウド @ 円 × 30個</p> <p>(2) 長期保存ご飯パックの購入 災害時等積立基金全体事業計画に則り、令和4年度「長期保存ご飯パック」を購入する。まちづくり委員会に保管し、不測の事態に対しての災害支援活動として活用する。 ご飯パック @ 円 × 個</p> <p>以上の計画だったが、まちづくり委員会所有のテントが保管されている倉庫の取り壊し計画が持ち上がり、新たな保管場所(倉庫)が必要になったため、本予算を基に次年度に倉庫を確保することになった。</p>														
事業費	0円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	人	人	合計	人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	人	人													
合計	人	人													
住民の声(アンケートの結果等)															

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		昨年度実施した防災アンケート結果から防災に関する意識は強いものがあり、それにこたえるような事業展開が必要である。	広報	事業の周知	B		まちづくり委員会がどのような防災に関する事業、備蓄品を持っているかほとんど周知できない状況のため積極的な周知を行っていききたい。
	住民の参加	B		まちづくり委員会がどのような備蓄品を持っているかほとんど周知できない状況のため積極的な周知を行っていききたい。		事業の効果	課題解決への作用	A	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		災害時の必需品として食料品をはじめとする備蓄品は必要である。	事業の効果		住民の満足度	A	
	各種団体との連携	B		行政や消防団、自治公民館連絡協議会との連携が、今後、必要である。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和4年4月・業務報告）> ・備蓄品の保存場所を明確にすべきであり、防災グッズの提供を受ける際のフローチャートの作成が必要である。 ・あらゆる場所で、実物展示や啓発活動が必要である。 <意見への対応> ・行政と協議し、備蓄品の保管場所を検討。事務所移転時に対応予定。 ・公民館の防災訓練時、まちづくり委員会事業開催時等に展示を実施。						対応	未	済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未	済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

[ 4 ]地域再生に係る事業

事業名	武家住宅魅力発信事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始： 令和4年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 3 産業と観光のまち 高岡市街地の活性化														
目的 (期待される効果)	武家住宅において高岡地域の特産品であるお茶やスイーツなどの食を中心としたイベントを開催し、SNS等で高岡の魅力を効果的に発信するとともに、高岡市街地の活性化のための武家住宅の新たな活用方法の可能性を探る。														
事業内容・手段	(1) 武家住宅での高岡地域の食を中心としたイベント 会場：武家住宅及び庭園内 実施時期：3月初旬 内容：お茶やスイーツなどの販売、ふるまい SNS等による戦略的な情報発信 音楽ライブ演奏 参加者：地域内外住民 約1,500名														
事業費	192,174円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,500人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,520人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1,500人	人	スタッフ	20人	人	合計	1,520人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	1,500人	人													
スタッフ	20人	人													
合計	1,520人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内のいろいろな業者さんが販売している商品を1ヶ所で購入出来て良かった。</li> <li>・武家住宅に初めてに入った。こんないいところがあったんだと分かった。</li> <li>・生の音楽も心地よかった。</li> </ul>														



自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		コロナ禍の中様々な事業が中止となり、まちが沈静化する中、このような事業を実施できたことは、地域の活性化に大いにつながった。	広報	事業の周知	A		チラシ、ポスターでの周知に加え、宮崎市広報誌・HPでの周知、インスタやフェイスブックのSNSによる広報活動を行った。
	住民の参加	A		高岡町内の飲食店や小物製作者の参加をいただき、高岡町のPRにつながった。		事業の効果	課題解決への作用	B	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		今回、初めての取り組みではあったが、地域活性化の面から非常に貴重な事業展開であった。			住民の満足度	A	
	各種団体との連携	A		宮崎市をはじめ、地域協議会、地元商工会等連携し有意義な事業となった。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p>よかった点や改善した点等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内の業者さんを中心に展開できたのは良かった。</li> <li>SNSを活用した周知方法は若い世代に有効だった。</li> <li>SNSを利用しない人向けの周知方法を検討することが必要。</li> </ul>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt; 地域協議会からの意見（令和4年10月・事業計画変更）&gt;</p> <p>発信方法が新たな取り組みであり、他の事業にも影響しますので、細かい分析を行い、今後の事業展開に生かしてください。</p> <p>&lt; 意見への対応 &gt;</p> <p>従来の広報誌、HP、FBだけの発信でなく、新たにInstagramでの発信も行い、今後の発信方法の手段として活用していきたい。</p>			対応	未・済			
		<p>&lt; 地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt; 意見への対応 &gt;</p>			対応	未・済			

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 2 ] 地域福祉に係る事業

事業名	子ども学習支援事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始： 令和4年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1 ともに支えあい安心して暮らせるまち 地域や子ども（学校）の連携														
目的 (期待される効果)	地域の小学生の学習支援を目的とし、地域の子どもと大人との縦・横のつながりを大切にする居場所づくりを構築する。														
事業内容・手段	(1) 高岡町内の小学生を対象に、公共施設等を利用し、1回/月を目標に高岡町内の各種団体と協働して、学習支援を実施する。  会場：宮崎市農業団地センター 実施時期：令和4年12月26日、27日、令和5年1月21日、2月18日、3月27日 内容：学習支援 参加者：穆佐小学校・高岡小学校3～6年生 児童56名 12月26日 16名 12月27日 17名 1月21日 7名 2月18日 8名 3月27日 8名														
事業費	65,639円														
対象者	高岡地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>56人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>73人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> 事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	56人	人	スタッフ	17人	人	合計	73人	人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	56人	人													
スタッフ	17人	人													
合計	73人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に学習できて良かった。</li> <li>・また参加したいと思った。</li> <li>・土曜日は習い事等があり参加しづらいので、長期休業中の平日実施はありがたいという声があった。</li> </ul>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		以前PTA役員や学校関係者と話をしている時に、学力向上のためにできることはないかという話が出ており、今回の事業につながった。	広報	事業の周知	A		小学校の3年生以上全児童にチラシを配布した。FB等での周知も行った。	
	住民の参加	A		3年生以上の児童が参加してくれた。また、宮日新聞の取材も受け、周知が広がった。			事業の効果	課題解決への作用	A	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		地域の子どもたちの居場所づくりを行うとともに、学習への興味・関心を高める機会になれば、まちづくり委員会が携わる意義が高まるだろう。	事業の効果	住民の満足度			A	
	各種団体との連携	A		小学校管理職の方に直接説明をし理解を得ることができた。また地域在住や地域にゆかりのある元教員の方にも協力を得ることができた。			事業継続の必要性		有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
良かった点・改善点等		よかった点や改善した点等 ・小学生が自力で来れる場所だったので保護者の負担をかけることなく実施できた。 ・今回は初めての試みで穆佐小学校校区のみの事業だったが、高岡小学校校区での実施も計画していきたい。								
地域協議会からの意見への対応		< 地域協議会からの意見（令和4年10月・事業計画変更）> 着実に実行して目的を達成してください。					対応	未 <input checked="" type="radio"/> 済 <input type="radio"/>		
		< 意見への対応 > 各小学校と連携を取り、計画通りの事業展開ができた。								
地域協議会からの意見への対応		< 地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未 <input type="radio"/> 済 <input type="radio"/>		
		< 意見への対応 >								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり推進委員会

事業名	地域防災リーダー育成事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	50,000	
2			
3			
4	合計(A)	50,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	6,927	消耗品費 3,557円 (ラベル用紙・クリップ) 食糧費(お茶) 3,370円
5	役務費	504	通信運搬費 504円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	7,431	

収支差額(A) - (B)	42,569
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり推進委員会

事業名	認知症見守り声かけ模擬訓練事業
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	50,000	
2			
3			
4	合計(A)	50,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	27,878	消耗品費 27,878円 (インク・コピー用紙)
5	役務費	504	通信運搬費 504円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	28,382	

収支差額(A) - (B)	21,618
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり推進委員会

事業名	子どもつなぐ事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	100,000	
2			
3			
4	合計(A)	100,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	5,000	謝礼
3	旅費		
4	需用費	56,070	食糧費(参加賞お菓子) 4,500円 消耗品 14,170円 (コピー用紙、テプラテープ) 消耗品費 37,400円 (色鉛筆、蛍光ペン等)
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	61,070	

収支差額(A) - (B)	38,930
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり推進委員会

事業名	まちづくりTAKAOKAつなぐ事業
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	159,000	
2	繰越金	740,760	
3	その他	240	
4	合計(A)	900,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	166,482	共益費 5,000円×11ヶ月 電気料4月分~3月分 111,482円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	605,000	家賃 55,000円×11ヶ月
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	771,482	

収支差額(A) - (B)	128,518
---------------	---------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり推進委員会

事業名	月知梅うめまつり事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	300,000	
2			
3			
4	合計(A)	300,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費		
6	委託料	55,000	記録ビデオ作成
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	55,000	

収支差額(A) - (B)	245,000
---------------	---------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり推進委員会

事業名	去川大イチョウフェスティバル事業
-----	------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	200,000	
2			
3			
4	合計(A)	200,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	68,958	消耗品費 26,593円 (ゴム印・スタンプ台・ テブラテープ・ライン用石灰) 食糧費 (弁当・お茶 3日分) 42,365円
5	役務費	5,344	手数料 (土地謄本代) 1,050円 (収入証紙) 2,400円 (振込手数料) 550円 通信運搬費 (書類郵送代) 1,344円
6	委託料	123,200	警備費用
7	使用料及び賃借料	19,008	レンタカー代
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	216,510	

収支差額(A) - (B)	-16,510
---------------	---------



(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	穆園ファミリーコンサート事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	174,000	
2			
3			
4	合計(A)	174,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	40,000	演奏者謝礼10,000円×4名分
3	旅費		
4	需用費	40,255	印刷製本費(チラシ) 8,080円 消耗品費 10,138円 (チラシ用紙・看板・靴入れ袋) 食糧費 22,037円 (弁当550円×30名、茶菓子、お茶)
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	50,000	音響機材費 50,000円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	130,255	

収支差額(A) - (B)	43,745
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	たかおか夏まつりエコクリーン活動事業
-----	--------------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	300,000	
2			
3			
4	合計(A)	300,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	125,400	印刷製本費 (ポスター・チラシ) 125,400円
5	役務費	550	手数料(振込手数料)550円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	125,950	

収支差額(A) - (B)	174,050
---------------	---------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	高岡地域情報発信事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	544,000	
2	繰越金	156,000	
3			
4	合計(A)	700,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	539,154	(印刷製本費) 81,774円×5=408,870円 130,284円×1=130,284円
5	役務費	550	手数料
6	委託料	53,900	サーバードメイン保守管理費 20,900円 ホームページ管理費 33,000円
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	593,604	

収支差額(A)-(B)	106,396
-------------	---------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	天ヶ城麓地区歴史的まちなみ文化ふれあい事業
-----	-----------------------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	150,000	
2			
3			
4	合計(A)	150,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	83,958	消耗品費 (インクカートリッジ) 36,980円 (記念品) 34,848円 食糧費 (弁当代・4日分) 12,130円
5	役務費	110	手数料
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	84,068	

収支差額(A) - (B)	65,932
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	ふるさとふれあいバスツアー～文化財巡り～事業
-----	------------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	150,000	
2			
3			
4	合計(A)	150,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	17,162	食糧費(軽食・お茶) 17,162円
5	役務費	2,035	保険料 1,485円 手数料 550円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	77,000	バス使用料 77,000円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	96,197	

収支差額(A) - (B)	53,803
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	高岡歴史かるた交流大会事業
-----	---------------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	50,000	
2			
3			
4	合計(A)	50,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	10,000	高岡歴史かるた会 謝礼
3	旅費		
4	需用費	10,497	食糧費 (調理パン・弁当) 9,507円 消耗品費 990円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	20,497	

収支差額(A) - (B)	29,503
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	高岡まちづくり委員会事務局運営事業
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	251,000	
2	繰越金	149,000	
3			
4	合計(A)	400,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	30,000	費用弁償 3,000円×10名
4	需用費	53,541	消耗品費(事務用品、会議用紙等) 44,442円 食糧費(会議用お茶) 9,099円
5	役務費	173,491	通信運搬費 (電話・インターネット) 105,238円 (郵送・切手) 21,313円 手数料(振込手数料等) 34,870円 保険料 12,070円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	25,410	フロアマット、モップ
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	11,000	Wi-Fiルーター代
11	手当	46,057	事務局員時間外手当
12	合計(B)	339,499	

収支差額(A) - (B)	60,501
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	災害時等積立事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	0	
3	災害時等積立取崩金	0	
4	合計(A)	0	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	0	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---



(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	武家住宅魅力発信事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	250,000	
2			
3			
4	合計(A)	250,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	30,000	出演料 10,000円×3名分
3	旅費		
4	需用費	24,674	印刷製本費 12,650円 食糧費 (飲物・弁当) 11,584円 消耗品費 440円
5	役務費		
6	委託料	110,000	企画広報費
7	使用料及び賃借料	27,500	冷蔵ケースレンタル
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	192,174	

収支差額(A) - (B)	57,826
---------------	--------

(様式第7号)

事業別収支計算書

高岡地域自治区

高岡まちづくり委員会

事業名	子ども学習支援事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	100,000	
2			
3			
4	合計(A)	100,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	40,000	謝礼(計5日間分) 2,000円×2h×10人=40,000円
3	旅費		
4	需用費	25,639	食糧費(調理パン、飲み物)
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	65,639	

収支差額(A)-(B)	34,361
-------------	--------

(様式第8号)

## 積立金管理状況報告書

高岡地域自治区  
高岡まちづくり委員会

積立金名称	災害時等積立事業
-------	----------

積立金の収支

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	587,720	
2	積立額	4	預金利息
3	取崩額	4	交付金口座へ移管
4	合計	587,720	

\*令和4年度エアベッド、長期保存ご飯パックの購入予定であったが、まちづくり委員会所有テント等が保管されている倉庫が令和5年度に取壊し予定(日時未定)のため、新たな保管場所が必要となったため、本予算をもとに令和5年度に倉庫(コンテナ倉庫)を確保することとした。

(様式第10号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年 5月22日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市高岡内山2887番地
名 称	高岡町づくり委員会
代表者の氏名	委員長 重 信 美 香
電 話 番 号	72 - 8837

令和4年10月28日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,118、442円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和5年度収支決算書

令和5年 5月15日

令和4年度 高岡地域まちづくり委員会への意見書 [ 事業実施報告 ]

高岡地域自治区地域協議会  
会長 畑中 政明

令和4年度の高岡地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた事業もありましたが、計画に沿って適正に運営されていました。高岡の歴史的資源を十分に活かした事業展開をお願いします。

2 事業の推進体制

特になし

3 各事業への意見 (意見のある事業のみ記載)

事業名	意見
去川大イチョウフェスティバル事業	・ボランティアのイベントへの関わり方を検討して欲しい。 ・おもいやり駐車場について検討して欲しい。

4 その他

特になし